

令和 7 年度(2025 年度)用

中学校保健体育用

「新編 新しい保健体育」 指導計画作成資料 【3年】

令和 7 年 (2025 年) 1 月 29 日版

※单元ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。
ご了承ください。

東京書籍

単元(章)名	健康と環境		教科書のページ	p. 121～140
配当時数	8 時間	学習指導要領の内容	保健分野 (4)ア、イ	

単元(章)の目標	○総括的な目標 健康と環境について、課題を発見し、その解決を目指した学習に主体的に取り組み、理解できるようにする。 ○評価の観点に対応した目標 ア 身体の環境に対する適応能力・至適範囲、飲料水や空気の衛生的管理および生活に伴う廃棄物の衛生的管理など、健康と環境の関わりについて理解できるようにする。(知識・技能) イ 健康と環境に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連づけて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを他者に伝えたり、表したりすることができるようにする。(思考力・判断力・表現力) ウ 健康と環境について関心を持ち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組むことができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元(章)の観点別評価規準	身体の環境に対する適応能力・至適範囲、飲料水や空気の衛生的管理および生活に伴う廃棄物の衛生的管理など、健康と環境の関わりについて理解している。	健康と環境に関わる事象や情報を基に課題を発見し、健康の保持増進のための原則や概念を明らかにするため科学的に思考・判断して、それらを他者に伝えたり、表したりしている。	健康と環境について関心を持ち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。
各時の学習活動に対応した観点別評価規準	① 身体には、環境に対してある程度までの適応能力があること、および身体の適応能力を超えた環境は健康に影響を及ぼすことがあることを、言ったり書いたりしている。 ② 快適で能率の良い生活を送るための温度、湿度、明るさには一定の範囲(至適範囲)があることを、言ったり書いたりしている。 ③ (発展の内容) 熱中症は、主体、環境、運動の三つの要因が関わり合って起こること、暑熱環境に身体が適応できなくなったときに、目まい、頭痛、吐き気、意識障害などの症状が現れ、死亡することもあることを、言ったり書いたりしている。 ④ 飲料水は健康と密接な関わりがあること、飲料水を衛生的に保つには基準に適合するよう管理することが必要であることを、言ったり書いたりしている。	[全時共通] ① 健康と環境に関わる事象や情報などを分析・整理し、健康の保持増進のための原則や概念を明らかにするため、課題を発見し、習得した知識を活用して、科学的に思考・判断し、表現している。 ② 健康と環境について、疾病等のリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を考え、その理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。	[全時共通] ① 学習内容に関心を持ち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。 ② 自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。

	ている。 ⑤ 空気は健康と密接な関わりがあること、室内の空気を衛生的に保つには基準に適合するよう管理することが必要であることを、言ったり書いたりしている。 ⑥ 人間の生活、産業、自然災害等によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があることを、言ったり書いたりしている。 ⑦ (発展の内容) 私たちは、放射線の特性を生かし、医療、農業、工業などで利用していること、空気や水などの環境が放射線で汚染されると健康への影響が懸念されることを、言ったり書いたりしている。		
観点別評価の基本的な考え方と方法	知識および技能の習得状況について評価するとともに、ほかの学習や生活の場面でも活用できる程度に概念(原理や原則)などを理解しているかについて評価する。 各時の観点別評価規準①～⑦は適宜各時の指導過程に位置づけ、ノートなどへの記述、発言・発表の内容等から判断し、特にC[努力を要する]状況にある者への指導の改善に生かす。 また、指導要録等に反映する評価は、必ずしも毎時間記録する必要はなく、小テスト、まとめの単元(章)テストなどを基にして、単元(章)を総合して行うなどの工夫をする。	知識および技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかを評価する。 評価は、「課題を解決する」場面を中心に、発言や記録の内容、レポートなどを基に、評価上特記すべき事項などを記録・蓄積し、単元(章)を総合して行う(必ずしも全ての時間に、全ての者を対象に評価し、記録する必要はない)。その過程で、特にC[努力を要する]状況にある者への指導の改善に生かすことに留意する。	①学習内容に関心をもち、知識および技能の獲得や思考力・判断力・表現力等を身につけるため、よりよく学ぼうとする意欲をもって、学習に粘り強く取り組みようとする側面と、②他者の考えも受け入れながら進め方を工夫・改善するなど、自らの学習を調整しようとする側面から判断して、単元(章)を通して総合的に評価する。 評価は、①、②それぞれの側面から、または一体的に、各時の学習の活動への取り組みや態度で特記すべきことなどを記録・蓄積し、単元(章)を総合して行う(必ずしも全ての時間に、全ての者を対象に評価し、記録する必要はない)。その過程で、特にC[努力を要する]状況にある者への指導の改善に生かすことに留意する。
	* 実現状況は、3観点ともに、各学校において評価規準に基づいて実現の状況を判断する指標(目安)を設定し、ABCの3段階で評価し指導の改善に役立てるとともに、単元ごとに整理したうえで、指導要録の教科の評価・評定に活用する。 A:「十分満足できる」状況と判断される者 B:「おおむね満足できる」状況と判断される者 C:「努力を要する」状況と判断される者		

各時の目標および内容・学習活動など

*学習内容・活動は、一例であり、生徒の学習の姿をイメージし、授業の展開や学習方法などに沿って具体的に表現する。また、「広げる」は、適宜取り扱う。

***D**…Dマークコンテンツ

目標	時数	学習内容・活動	評価の観点と方法
(1) 環境への適応能力 ◆ほかの内容との関連：口絵3 情報の活用、p.126 熱中症の予防と手当、p.138 地球温暖化による健康や安全への影響（章末資料）、p.192 スキル熱中症の応急手当、p.193 スキル野外スポーツを安全に行う、 D 熱中症警戒アラート ★ほかの教科との関連：理科2年 恒温動物と変温動物			
身体には、環境に対してある程度までの適応能力があることおよび身体の適応能力を超えた環境は健康に影響を及ぼすことがあることを理解できるようにする。 p.122～123	1	1. 見つける 最高気温が高い暑い日や、最低気温が低い寒い日に、どのような行動をとっているか振り返り、理由とともに発表し合う。 2. 発問 資料1を基に、気温の変化に対してどのように体温を調節しているか考え、整理する。 3. 発問 資料2を基に、体の適応能力には限界があるか考える。 4. 熱中症や低体温症などを例に、体の適応能力の限界などについて整理する。 5. 活用する 事故事例から、環境の変化と体の適応について考え、発表し合う。 6. 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。	[態度①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～6を通じて） [思判表①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～5を通じて） [知技①] 定期テストなど 授業時は生徒の反応やノートチェックなどによる個別指導中心
(2) 活動に適する環境			
快適で能率の良い生活を送るための温度、湿度、明るさには一定の範囲（至適範囲）があることを理解できるようにする。 p.124～125	1	1. 見つける 学習やスポーツをしやすい気温について話し合う。 2. 発問 資料1,2や日常経験の振り返りを基に、暑さや寒さの感じ方について調べる。 3. 温熱条件の至適範囲について整理する。 4. 発問 資料4を基に、学校内の照度基準について調べ、明るさの至適範囲について整理する。 5. 活用する マラソン選手の記録と気温の関係についての説明を考え、発表し合う。 6. 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。	[態度①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～6を通じて） [思判表①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～5を通じて） [知技②] 定期テストなど 授業時は生徒の反応やノートチェックなどによる個別指導中心
●熱中症の予防と手当（発展の内容） ◆ほかの内容との関連：口絵3 情報の活用、p.114 運動やスポーツの安全な行い方、p.122 環境への適応能力、192 スキル熱中症の応急手当、 D 熱中症警戒アラート			
熱中症は、主体、環境、運動の三つの要因が関わり合って起こること、暑熱環境に身体が適応できなくなったときに目まい、頭痛、吐き気、意識障害などの症状が現れ、死亡することもあることを理解できるようにする。 p.126～127	1	1. 熱中症について知っていることや体験などについて話し合う。 2. 資料1～4を基に、熱中症が起こる原因や予防の方法を調べる。 3. 資料5を基に、熱中症の手当について確認し、整理する。 4. 暑くなることが予想される日に、どのように行動したらよいか、具体的に考え、発表し合う。 5. 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。	[態度①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～5を通じて） [思判表①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～4を通じて） [知技③] 定期テストなど 授業時は生徒の反応やノートチェックなどによる個別

			指導中心
(3) 飲料水の衛生的管理 ◆ほかの内容との関連：口絵 1 私たちの未来と SDGs、p. 136 放射線と健康、p. 142 感染症の広がり方			
飲料水は健康と密接な関わりがあること、飲料水を衛生的に保つには基準に適合するよう管理することが必要であることを理解できるようにする。 p. 128～129	1	1. 見つける 写真の三つの水の中から安全に飲める水を選び、その理由などを話し合う。 2. 発問 資料 1 を基に、生命の維持や健康に果たす水の役割について調べ、整理する。 3. 発問 資料 3、4 を基に、飲料水の衛生的管理について調べ、整理する。 4. 活用する 設問について考え、発表し合う。 5. 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。	[態度①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～5 を通じて） [思判表①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～4 を通じて） [知技④] 定期テストなど 授業時は生徒の反応やノートチェックなどによる個別指導中心
(4) 室内の空気の衛生的管理 ◆ほかの内容との関連：p. 136 放射線と健康、 D 室内の空気の衛生的管理 ★ほかの教科との関連：家庭 健康で快適な室内環境 D			
空気は健康と密接な関わりがあること、室内の空気を衛生的に保つには基準に適合するよう管理することが必要であることを理解できるようにする。 p. 130～131	1	1. 見つける 設問やイラストから、閉め切った部屋での体の変化について話し合う。 2. 発問 資料 1 を基に、換気の回数と空気の汚れとの関係について話し合う。 3. 資料 2 を基に、二酸化炭素の健康への影響や換気の必要性について調べ、整理する。 4. 資料 3、4 を基に、一酸化炭素の健康への影響について調べ、整理する。 5. 活用する イラストの場面での、健康上の問題と解決策について考え、発表し合う。 6. 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。	[態度①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～6 を通じて） [思判表①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～5 を通じて） [知技⑤] 定期テストなど 授業時は生徒の反応やノートチェックなどによる個別指導中心
(5) 生活に伴う廃棄物の衛生的管理 ◆ほかの内容との関連：口絵 1 私たちの未来と SDGs、p. 138 地球温暖化による健康や安全への影響（章末資料）、p. 140 SDGs に取り組む町（章末資料）、 D 生活排水の処理 ★ほかの教科との関連：社会（歴史）現代の公害問題とその克服、社会（公民）公害の防止と環境の保全 D 、地球環境問題 D 、理科 3 年 自然環境の調査と保全 D 、家庭 持続可能な社会 D			
人間の生活、産業、自然災害等によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があることを理解できるようにする。 p. 132～135	2	1. 見つける 設問について話し合う。 2. 発問 資料 1 を基に、ごみの種類や量について調べ、ごみの健康への影響について整理する。 3. 発問 資料 2 を基に、ごみの処理の方法について調べる。 4. ごみの衛生的な処理と個人の取り組みの重要性などについて考え、整理する。 5. 生活排水と健康について調べ、整理する。 6. 発問 資料 6 を基に、下水道の普及と川の水質の関係を調べる。 7. 生活排水の処理と個人の取り組みについて整理する。 8. 環境汚染と健康について調べ、整理する。 9. 発問 自然災害時のごみや生活排水と健康について調べ、整理する。	[態度①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～11 を通じて） [思判表①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～10 を通じて） [知技⑥] 定期テストなど 授業時は生徒の反応やノートチェックなどによる個別指導中心

		10. 活用する 設問について考え、発表し合う。 11. 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。 * 生活に伴う廃棄物と産業や自然災害による廃棄物を、時間を分けて扱うことも考えられる。	
●放射線と健康（発展の内容） ◆ほかの内容との関連：p. 128 飲料水の衛生的管理、p. 130 室内の空気の衛生的管理、 D 放射線の利用			
私たちは、放射線の特性を生かし、医療、農業、工業などで利用していること、空気や水などの環境が放射線で汚染されると健康への影響が懸念されることを理解できるようにする。 p. 136～137		1. 放射線（放射能）という言葉から感じることを話し合う。 2. 資料 1 を基に、放射性物質、放射能、放射線の違いについて整理する。 3. 資料 2～5 を基に、放射線の利用と人体への影響について調べ、整理する。 4. 放射線の管理と正しい情報取得の必要性について調べ、説明する。 5. 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。	【態度①②】 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導 （1～5 を通じて） 【思判表①②】 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導 （1～4 を通じて） 【知技⑦】 定期テストなど 授業時は生徒の反応やノートチェックなどによる個別指導中心

単元(章)名	健康な生活と疾病の予防③		教科書のページ	p. 141～160
配当時数	8 時間	学習指導要領の内容	保健分野 (1)ア(オ)(カ)、イ	

単元(章)の目標	○総括的な目標 感染症の予防および個人の健康を守る社会の取り組みについて、課題を発見し、その解決を目指した学習に主体的に取り組む、理解できるようにする。 ○評価の観点に対応した目標 ア 感染症の予防および個人の健康を守る社会の取り組みについて、理解できるようにする。 (知識・技能) イ 感染症の予防および個人の健康を守る社会の取り組みに関わる事象や情報を基に課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりする視点から解決を目指して科学的に思考・判断して、それらを他者に伝えたり、表したりすることができるようにする。(思考・判断・表現) ウ 感染症の予防および個人の健康を守る社会の取り組みについて関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に粘り強く取り組むことができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元(章)の観点別評価規準	感染症の予防および個人の健康を守る社会の取り組みについて、理解している。	感染症の予防および個人の健康を守る社会の取り組みに関わる事象や情報を基に課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりする視点から解決を目指して科学的に思考・判断し、それらを他者に伝えたり、表したりしている。	感染症の予防および個人の健康を守る社会の取り組みについて関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に粘り強く取り組もうとしている。
各時の学習活動に対応した観点別評価規準	① 感染症は、病原体が主な要因となって発生し、感染や発病には人の条件だけでなく、自然環境や社会環境も関わっていることを、言ったり書いたりしている。 ② 感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、体の抵抗力を高めることによって予防できることを、言ったり書いたりしている。 ③ 性感染症の予防には、性的接触を避ける、コンドームを使用するなど感染のリスクを軽減する方法を身につけることが必要であることを、言ったり書いたりしている。 ④ エイズの予防には、性的接触を避ける、コンドームを使用する、感染者や他人の血液などには触れないなどHIV感染のリスクを軽減する方法を身につけることが必要であることを、言ったり書いたりしている。 ⑤ 医薬品を効果的に使用するた	[全時共通] ① 感染症の予防および健康を守る社会の取り組みに関わる事象や情報などを分析・整理し、感染症予防のための原則や概念を明らかにしたり、保健・医療機関を活用する方法を考えたりするため、自他の課題を発見し、習得した知識を活用して、科学的に思考・判断し、表現している。 ② 感染症の予防および健康を守る社会の取り組みについて、疾病等のリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を考え、その理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。	[全時共通] ① 学習内容に関心をもち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。 ② 自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。

	めには、医師や薬剤師の指示に従い、注意書きや説明書をきちんと読んで正しく使用することが必要であることを、言ったり書いたりしている。 ⑥健康の保持増進、疾病やけがからの回復には、地域の保健センターや保健所などの保健機関や医療機関を利用することが有効であることを、言ったり書いたりしている。 ⑦健康の保持増進や疾病の予防のためには、健康的な生活行動など個人の取り組みとともに、健康診断や健康相談、予防接種など社会のさまざまな取り組みによって解決が図られていることを、言ったり書いたりしている。 ⑧生涯にわたって健康的な生活を送るためには、個人が主体的に努力し、社会全体でそれを支援することが重要であることを、言ったり書いたりしている。		
観点別評価の基本的な考え方と方法	知識および技能の習得状況について評価するとともに、ほかの学習や生活の場面でも活用できる程度に概念(原理や原則)などを理解しているかについて評価する。 各時の観点別評価規準①～⑧は適宜各時の指導過程に位置づけ、ノートなどへの記述、発言・発表の内容等から判断し、特にC[努力を要する]状況にある者への指導の改善に生かす。 また、指導要録等に反映する評価は、必ずしも毎時間記録する必要はなく、小テスト、まとめの単元(章)テストなどを基にして、単元(章)を総合して行うなどの工夫をする。	知識および技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかを評価する。 評価は、「課題を解決する」場面を中心に、発言や記録の内容、レポートなどを基に、評価上特記すべき事項などを記録・蓄積し、単元(章)を総合して行う(必ずしも全ての時間に、全ての者を対象に評価し、記録する必要はない)。その過程で、特にC[努力を要する]状況にある者への指導の改善に生かすことに留意する。	①学習内容に関心をもち、知識および技能の獲得や思考力・判断力・表現力等を身につけるため、よりよく学ぼうとする意欲をもって、学習に粘り強く取り組もうとする側面と、②他者の考えも受け入れながら進め方を工夫・改善するなど、自らの学習を調整しようとする側面から判断して、単元(章)を通して総合的に評価する。 評価は、①、②それぞれの側面から、または一体的に、各時の学習の活動への取り組みや態度で特記すべきことなどを記録・蓄積し、単元(章)を総合して行う(必ずしも全ての時間に、全ての者を対象に評価し、記録する必要はない)。その過程で、特にC[努力を要する]状況にある者への指導の改善に生かすことに留意する。
	*実現状況は、3観点ともに、各学校において評価規準に基づいて実現の状況を判断する指標(目安)を設定し、ABCの3段階で評価し指導の改善に役立てるとともに、単元ごとに整理したうえで、指導要録の教科の評価・評定に活用する。 A:「十分満足できる」状況と判断される者 B:「おおむね満足できる」状況と判断される者 C:「努力を要する」状況と判断される者		

各時の目標および内容・学習活動など

*学習内容・活動は、一例であり、生徒の学習の姿をイメージし、授業の展開や学習方法などに沿って具体的に表現する。また、「広げる」は、適宜取り扱う。

***D**…Dマークコンテンツ

目標	時数	学習内容・活動	評価の観点と方法
(1) 感染症の広がり方 ◆ほかの内容との関連：p. 128 飲料水の衛生的管理、p. 138 地球温暖化による健康や安全への影響（章末資料）、p. 158 感染症の歴史（章末資料）、 D 感染症の種類、 D 飛まつ飛び方、 D 手や物を通した感染、 D 病原体の感染と発病 ★ほかの教科との関連：理科 3 年 菌類、細菌類			
感染症は、病原体が主な要因となって発生し、感染や発病には人の条件だけでなく、自然環境や社会環境も関わっていることを理解できるようにする。 p. 142～143	1	1. 見つける 生活を振り返り、インフルエンザが広がりやすい場所やその理由について話し合う。 2. 発問 資料 1～4 を基に、さまざまな感染症の病原体の種類と感染経路について調べ、説明する。 3. 発問 資料 5、6 を読み取って、感染症が広がる条件について考え、説明する。 4. 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。	[態度①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～4 を通じて） [思判表①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～3 を通じて） [知技①] 定期テストなど 授業時は生徒の反応やノートチェックなどによる個別指導中心
(2) 感染症の予防 ◆ほかの内容との関連：p. 158 感染症の歴史（章末資料）、p. 160 免疫と予防接種（章末資料）、p. 194 スキル手洗いの方法、p. 194 スキル マスクのつけ方、 D 感染症の予防 ★ほかの教科との関連：家庭 食品の保存と食中毒の予防 D			
感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解できるようにする。 p. 144～145	1	1. 見つける インフルエンザにかかる人とかからない人の違いについて話し合う。 2. 発問 インフルエンザの感染を防ぐために、自分で気をつけていることを発表する。 3. 資料 2～4 を基に、感染を防ぐための対策を、発生源、感染経路、抵抗力に分けて考え、整理する。 4. 感染症からの回復について考え、整理する。 5. 活用する 事例から、「緊急事態宣言」の内容と有効だった理由について考え、発表し合う。 6. 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。	[態度①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～6 を通じて） [思判表①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～5 を通じて） [知技②] 定期テストなど 授業時は生徒の反応やノートチェックなどによる個別指導中心
(3) 性感染症の予防 ◆ほかの内容との関連：p. 36 性に関する適切な態度や行動の選択、p. 148 エイズの予防、 D 性感染症の予防			
性感染症の予防には、性的接触を避ける、コンドームを使用するなど感染のリスクを軽減する方法を身につけることが必要であることを理解できるようにする。 p. 146～147	1	1. 見つける 教科書の例を見て、聞いたことのある性感染症があるか確認し、性感染症について話し合う。 2. 発問 資料 2、3 を基に、性感染症の種類と症状、感染者数などについて調べ、整理する。 3. 性感染症の予防対策について調べ、整理する。 4. 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。	[態度①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～4 を通じて） [思判表①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～3 を通じて） [知技③] 定期テストなど 授業時は生徒の反応やノ

			トチェックなどによる個別指導中心
(4) エイズの予防 ◆ほかの内容との関連：p. 36 性に関する適切な態度や行動の選択、p. 146 性感染症の予防、p. 160 免疫と予防接種（章末資料）			
エイズの予防には、性的接触を避ける、コンドームを使用する、感染者や他人の血液などには触れないなど HIV 感染のリスクを軽減する方法を身につけることが必要であることを理解できるようにする。 p. 148～149	1	1. 見つける エイズという言葉を見たり、聞いたりした経験について話し合う。 2. エイズの病原体や感染経路について調べ、整理する。 3. 発問 資料 2、3 を基に、エイズの特徴について調べ、整理する。 4. HIV 感染の予防対策について整理し、説明する。 5. 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。	【態度①②】 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～5 を通じて） 【思判表①②】 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～4 を通じて） 【知技④】 定期テストなど 授業時は生徒の反応やノートチェックなどによる個別指導中心
(5) 医薬品の利用 ◆ほかの内容との関連：p. 100 薬物乱用の害と健康、p. 170 アンチ・ドーピング（章末資料）、 D 医薬品の利用			
医薬品を効果的に使用するためには、医師や薬剤師の指示に従い、注意書きや説明書をきちんと読んで正しく使用することが必要であることを理解できるようにする。 p. 150～151	1	1. 見つける 飲み薬に関する問いに○×で答え、自身の知識の誤解や曖昧さを確認する。 2. 発問 資料 1～3 を基に、医薬品の形状、使用量や飲み方などについて調べ、その理由について話し合い、整理する。 3. 医薬品の正しい利用の仕方や、お薬手帳の役割について考え、整理する。 4. 活用する 風邪薬の使用上の注意について、その理由を考え、発表し合う。 5. 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。	【態度①②】 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～5 を通じて） 【思判表①②】 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～4 を通じて） 【知技⑤】 定期テストなど 授業時は生徒の反応やノートチェックなどによる個別指導中心
(6) 保健・医療機関の利用 ◆ほかの内容との関連：p. 92 生活習慣病の予防、 D 地域の保健活動			
健康の保持増進、疾病やけがからの回復には、地域の保健センターや保健所などの保健機関や医療機関を利用することが有効であることを理解できるようにする。 p. 152～153	1	1. 見つける 自分の生活を振り返り、 ①～③ のけがや病気のとときの対処の仕方について話し合う。 2. 発問 これまでの経験や資料 1 を基に、医療機関の役割の違いや利用の仕方について調べ、整理する。 3. 発問 これまでの経験や資料 3 を基に、保健機関の役割の違いや利用の仕方について調べ、整理する。 4. 活用する 子どもの頃から、長期に同じかかりつけ医を利用する利点について考え、発表し合う。 5. 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。	【態度①②】 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～5 を通じて） 【思判表①②】 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～4 を通じて） 【知技⑥】 定期テストなど 授業時は生徒の反応やノートチェックなどによる個別指導中心
(7) 健康を守る社会の取り組み ◆ほかの内容との関連：p. 92 健康を守る社会の取り組み、p. 94 がんの予防、p. 108 むし歯や歯周病を予防するための運動（章末資料）、 D WHO、 D ユニセフ			

★ほかの教科との関連：社会（公民） 社会保障の仕組み **D**

健康の保持増進や疾病の予防のためには、健康的な生活行動など個人の取り組みとともに、健康診断や健康相談、予防接種など社会のさまざまな取り組みによって解決が図られていることを理解できるようにする。 p. 154～155	1	1. 見つける 大人が健康診断を受ける機会や場所について話し合う。 2. 発問 生活習慣病の予防に健康診断が有効な理由について考え、整理する。 3. 発問 人々の健康を守るために社会が行っているさまざまな保健活動について調べ、説明する。 4. 活用する インフルエンザの予防のための個人、周囲の人、社会の取り組みについて考え、発表し合う。 5. 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。	[態度①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～5を通じて） [思判表①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～4を通じて） [知技⑦] 定期テストなど 授業時は生徒の反応やノートチェックなどによる個別指導中心
(8) 保健の学習を振り返ろう			
生涯にわたって健康的な生活を送るためには、個人が主体的に努力し、社会全体でそれを支援することが重要であることを理解できるようにする。 p. 156～157	1	1. 健康を保持増進するために、自分の行っていることについて発表し合う。 2. 健康づくりのための主体的な取り組みの必要性について話し合う。 3. ヘルスプロモーションの考え方について調べ、説明する。 4. まとめ 選択した健康課題の解決に対する自己の取り組みを考え、発表し合う。	[態度①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～4を通じて） [思判表①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～3を通じて） [知技⑧] 定期テストなど 授業時は生徒の反応やノートチェックなどによる個別指導中心

単元(章)名	文化としてのスポーツの意義		教科書のページ	p. 161～170
配当時数	3 時間	学習指導要領の内容	体育分野[第 3 学年] H(1)ア、イ、ウ	

単元(章)の目標	○総括的な目標 文化としてのスポーツの意義について、課題を発見し、その解決を目指した学習に主体的に取り組み、理解できるようにする。 ○評価の観点に対応した目標 ア 文化としてのスポーツの意義について、理解できるようにする。(知識・技能) イ 文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考・判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。(思考・判断・表現) ウ 文化としてのスポーツの意義について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組むことができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元(章)の観点別評価規準	文化としてのスポーツの意義について、理解している。	文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考・判断するとともに、それらを他者に伝えたり、表したりしている。	文化としてのスポーツの意義について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。
各時の学習活動に対応した観点別評価規準	① スポーツは、文化的な生活を営みよりよく生きていくために重要であることを、言ったり書いたりしている。 ② オリンピックやパラリンピックおよび国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを、言ったり書いたりしている。 ③ スポーツは、民族や国、人種や性、障がいの有無などの違いを超えて人々を結び付けていることを、言ったり書いたりしている。	[全時共通] ① スポーツが、文化的な生活、国際親善、世界平和、人々の結び付きなどに果たす役割について、思考・判断・表現している。 ② 文化としてのスポーツの意義について、習得した知識を活用して、自己のスポーツとの関わり方に生かす方法を考え、他者に伝えたり、ノートなどに記述したりしている。	[全時共通] ① 学習内容に関心をもち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。 ② 自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。

観点別評価の基本的な考え方と方法	知識および技能の習得状況について評価するとともに、ほかの学習や生活の場面でも活用できる程度に概念(原理や原則)などを理解しているかについて評価する。 各時の観点別評価規準①～③は適宜各時の指導過程に位置づけ、ノートなどへの記述、発言・発表の内容等から判断し、特にC[努力を要する]状況にある者への指導の改善に生かす。 また、指導要録等に反映する評価は、必ずしも毎時間記録する必要はなく、小テスト、まとめの単元(章)テストなどを基にして、単元(章)を総合して行うなどの工夫をする。	知識および技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかを評価する。 評価は、「課題を解決する」場面を中心に、発言や記録の内容、レポートなどを基に、評価上特記すべき事項などを記録・蓄積し、単元(章)を総合して行う(必ずしも全ての時間に、全ての者を対象に評価し、記録する必要はない)。その過程で、特にC[努力を要する]状況にある者への指導の改善に生かすことに留意する。	①学習内容に関心をもち、知識および技能の獲得や思考力・判断力・表現力等を身につけるため、よりよく学ぼうとする意欲をもって、学習に粘り強く取り組もうとする側面と、②他者の考えも受け入れながら進め方を工夫・改善するなど、自らの学習を調整しようとする側面から判断して、単元(章)を通して総合的に評価する。 評価は、①、②それぞれの側面から、または一体的に、各時の学習の活動への取り組みや態度で特記すべきことなどを記録・蓄積し、単元(章)を総合して行う(必ずしも全ての時間に、全ての者を対象に評価し、記録する必要はない)。その過程で、特にC[努力を要する]状況にある者への指導の改善に生かすことに留意する。
	*実現状況は、3観点ともに、各学校において評価規準に基づいて実現の状況を判断する指標(目安)を設定し、ABCの3段階で評価し指導の改善に役立てるとともに、単元ごとに整理したうえで、指導要録の教科の評価・評定に活用する。 A:「十分満足できる」状況と判断される者 B:「おおむね満足できる」状況と判断される者 C:「努力を要する」状況と判断される者		

各時の目標および内容・学習活動など

*学習内容・活動は、一例であり、生徒の学習の姿をイメージし、授業の展開や学習方法などに沿って具体的に表現する。また、「広げる」は、適宜取り扱う。

***D**…Dマークコンテンツ

目標	時数	学習内容・活動	評価の観点と方法
(1) 現代社会におけるスポーツの文化的意義 ◆ほかの内容との関連：p. 62 私とスポーツ(章末資料)			
スポーツは、文化的な生活を営み、よりよく生きていくために重要であることを理解できるようにする。 p. 162～163	1	1. 見つける 文化にはどのようなものがあるか、スポーツが文化の一つであるかどうか考え、発表し合う。 2. 発問 資料1を基に、スポーツの文化的意義について調べ、整理する。 3. スポーツによる健やかな心身の獲得について考え、整理する。 4. 発問 読み物を読み、スポーツを通じた交流の経験について発表し合い、整理する。 5. 自己開発とスポーツについて考え、整理する。 6. 活用する 今までの生活を振り返り、スポーツが生活をよりよくしてくれる事例について考え、話し合う。 7. 学習したことを整理し、ノートなどにまとめ	[態度①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導 (1～7を通じて) [思判表①②] 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導 (1～6を通じて) [知技①] 定期テストなど 授業時は生徒の反応やノートチェックなどによる個別指導中心

		る。	
(2) 国際的なスポーツ大会の役割 ◆ほかの内容との関連：p. 168 オリンピック・パラリンピック（章末資料）、p. 170 アンチ・ドーピング（章末資料）			
オリンピックやパラリンピックおよび国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解できるようにする。 p. 164～165	1	1. 【見つける】 知っているスポーツの国際大会を発表し合う。 2. 【発問】 東京 2020 オリンピック・パラリンピックで、感動したことや印象に残っていることを発表し合う。 3. 国際的なスポーツ大会の教育的な意義と倫理的価値を整理する。 4. 読み物を基に、国際的なスポーツ大会が国際親善や世界平和に果たす役割について考え、整理する。 5. 【発問】 資料 2 を基に、日頃のスポーツ観戦の方法について思い出し、スポーツとメディアについて整理する。 6. 【活用する】 設問について考え、話し合う。 7. 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。	【態度①②】 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～7 を通じて） 【思判表①②】 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～6 を通じて） 【知技②】 定期テストなど 授業時は生徒の反応やノートチェックなどによる個別指導中心
(3) 人々を結び付けるスポーツ 【D】 パラスポーツ 夢への挑戦、 【D】 コーフボール			
スポーツは、民族や国、人種や性、障がいの有無などの違いを超えて人々を結び付けていることを理解できるようにする。 p. 166～167	1	1. 【見つける】 スポーツを通じて、どのような人とどのように関わってきたかを考え、発表し合う。 2. 【発問】 資料 1 を基に、ナショナルチームについて考える。 3. スポーツによる人々の結び付きについて整理する。 4. 【発問】 スポーツが人々を結び付ける理由や工夫について考え、整理する。 5. 【活用する】 設問について考え、発表し合う。 6. 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。	【態度①②】 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～6 を通じて） 【思判表①②】 発言・ノートなど 特記事項を記録、個別指導（1～5 を通じて） 【知技③】 定期テストなど 授業時は生徒の反応やノートチェックなどによる個別指導中心